



© sayaka

野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



ごま塩頭のオニアジサシくん/東よか干潟にて (撮影：加藤芳隆さん)

野鳥さが214号 主な内容

- 役員会報告2ページ
- 「2017 さが環境フェスティバル in 森林公園」参加報告.....3ページ
- 「モニ1000研修会 in 佐賀」報告.....4ページ
- 支部からのお知らせ5ページ
- 各地の観察会報告6ページ
- 皆さんからのおたより10ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報.....12ページ
- 有明海の満潮時刻.....12ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から.....13ページ
- 近隣地区の観察会情報.....14ページ
- 観察会会場までの案内15ページ
- 観察会などのお知らせ (2017年12月~2018年1月)16ページ



役員会報告

(事務局:島田洋)

【日 時】2017年10月29日

【出席者】宮原明幸、橋本泰博、田中丸雅雄、江口富美子、加藤芳隆、中原正義、中村さやか、坂田紀子、蒲原留美、青柳良子、島田洋

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) 探鳥会保険について

- ① 探鳥会の事故に関しては探鳥会保険を用意している。
- ② 日本野鳥の会財団本部が用意している保険があるがそれだけでは不十分。
- ③ 各支部で独自に保険を用意しなければならない。
- ④ 佐賀県支部は損保会社に独自に契約をした。
- ⑤ 保険に関してはいろいろ問題があり、議論を重ねている。

(2) ハス田の防鳥ネットについて

- ① 蓮の田んぼでは防鳥ネットが張られて野鳥が犠牲になる事例が相次いでいる。
- ② 佐賀県支部の役員が、茨城県での実態をみる機会が予定されている。

(3) その他、カササギの巣調査、愛鳥モデル校関連、今後の行事予定などについての協議を行った。



「愛鳥モデル指定校の愛鳥指導日が決まりました」

① 玄海みらい学園 (小中一貫校)

- ・ 11/17 (金) 巣箱作り (3年生 54名) 実施済み
- ・ 12/14 (木) 野鳥観察会 (7年生 (中学1年生) 47名) 15:00~15:50
- ・ 1/24 (水) 野鳥座寸劇公演 (1年生 56名) 14:00~14:45

② 東山代小学校

- ・ 12/2 (土) 交流学習会 (4年生 62名) 実施済み
鹿児島県川内市立鶴荘学園中学生とツル分散化事業に関する交流学習会
- ・ 1/16 (火) 野鳥観察会 (4年生 62名) 8:30~10:00
- ・ 1/23 (火) 巣箱作り (4年生 62名) 14:00~14:45

いずれもスタッフが4~6名ほど必要です。愛鳥指導にご協力できる方は下記の担当者までご連絡をお願いします。

【愛鳥モデル校担当】馬場清 (嬉野市) 携帯:090-1084-3852





「2017 さが環境フェスティバル in 森林公園」に参加しました

(報告：青柳良子)

10月14(土)・15(日)、佐賀市久保田町の県立森林公園で40余りの「環境問題を考える」企業・市民活動団体が集まって開催されました。

私達、野鳥の会も「野鳥たちが安心して棲める環境を！」を訴えるために、県内で観られる野鳥の写真・ラムサール条約で守られるようになった有明海のシギ・チドリの写真を展示しました。また、県の鳥「カササギ」を知ってもらい、大切に見守っていただけるようにとの願いをこめて出展しました。

前日準備(13日・金)と、初日(14日)は、曇空でしたが、二日目(15日)と、撤収日(16日)は、どしゃぶりの雨でした。今年は「カササギの巣」が手に入ったので、皆さんの足を止めることに役立ち、「えっ！こんなに大きいの?!」とか「巣の中こんなになってるんだ!」とか感嘆の声がいくつも聞こえました。「カササギを知らない」と言う子どもたちが意外に多いことに驚かされました。

1日目は馬場清さん・江口富美子さんの呼び込みで273名。

2日目はどしゃ降りの雨の中、傘をさして「エサ台作り」を精力的に呼びかけてくださった田代規生さんや永島博さんのお陰もあって、150名もの訪問者がありました。

お手伝い下さった方は

13日(金)準備

(本庄公民館からパネル・机を運び、ブース内にセットし、写真パネルなどの展示)

吉澤進、上野武美、江口富美子、田中丸雅雄、青柳隆、徳淵義実、田辺憲子、水田稔
蒲原留美、青柳良子

(カササギの巣を 江口さん宅から森林公園に)

馬場清・山崎章弘

(12名)

14日(土)

中島修、中島由美子、友岡周一、田辺憲子、古賀郁香、二宮尚子、江口富美子、田中丸雅雄、馬場清、山崎章弘、青柳良子 (11名)

15日(日)

古賀郁香、二宮尚子、江口富美子、永島博、田代規生、宮原明幸、吉澤進、福田康典、馬場清、蒲原留美、川原直嗣、水田稔、青柳良子 (13名)

16日(月)(パネルと机を本庄公民館へ運ぶ)

上野武美、吉澤進、田中丸雅雄、徳淵義実、蒲原留美、青柳良子 (6名)

以上延べ42名の方々にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

展示内容は前号の支部報でもお知らせしましたが ①佐賀県内で観られる野鳥の写真 ②牛乳パックを使ってのエサ台作り ③スズメとマガモのぬりえ ④カササギバッジやカレンダーの販売 ⑤野鳥写真(A4 松田信義さん撮影)のプレゼント・・・など
今回、特に取り組んだことは「会員を増やすために!」ということで「一年間会費無料!」



のチラシと、本部から送っていただいた「おさんぼ鳥図鑑プレゼントはがき」それに「入会案内」をセットにして積極的に配りました。

次号の支部報で「新会員紹介」が出来たら「その成果だ！」と思ってください。

2日間を通して感じたことは

- 野鳥の写真を熱心に見て下さる方も多かった。
- エサ作りは盛況だった。(1日目は60個、2日目は35個ぐらい作成)
今年は左きき用のはさみも用意できたのでよかった。
- ぬりえは2日間でどちらも15枚程度。
- カササギバッジは9個売れた。
- 「野鳥写真プレゼント」も喜ばれた。
- 「カササギの巣」の展示は、やはり(エッ!何これ!?)と足を止めてくれる人が多かった。「よく作るね~!」「卵産むところはこんなになっているんだ!」といつもは下からしか見ていなかった巣の様子が良く分かって感動して下さった方もあった。
- 一日目の夜から二日目一日中大雨だったので、本庄公民館からお借りしたパネルが歪んでしまった。(公民館では「気にしないで」と言ってくださったが、パネルについては今後何らかの対策が必要だろうと思う。)



「モニ1000 研修会 in 佐賀」が開催されました

(報告:宮原明幸)

11月18日(土)13時~17時と19日(日)9時~12時、(公財)日本野鳥の会・自然保護室の野口真磨子さんとバードリサーチの植田睦之さんの講師が来佐され、モニタリングサイト1000鳥類調査法の研修がありました。

18日は、9時から支部での東よか干潟バードウォッチングにお二人参加され、広大な干潟と、たまたま入ったオニアジサシに感動されていました。

研修会は、小城市の「ゆめぷらっと小城」で参加者28人(当支部22人・他支部6人)でした。13時30分、参加者自己紹介の後、モニ1000の概要説明、これまでの成果報告、調査方法の解説、質疑と、なかなか興味深く面白いお話しが続きまして。

16時から、佐賀県支部の活動報告で、野鳥座のDVD上映が予定されていましたが、器械の不具合があり実施できず残念でした。

最後に、全国鳥類繁殖分布調査の案内があり1日目の講義が終了です。講義終了後には、近くの居酒屋で懇親会があり、その後二次会まで・・・鳥談義?に花が咲きました。

19日 9時から佐賀県林業試験場で野外実習スポットセンサス・植生調査の手法を教わり2日間の研修が終了しました。

この度、佐賀でモニタリングサイト1000の研修が実施された経緯をお伺いしました。



(写真提供:加藤芳隆さん)



『佐賀県支部は全然協力が無いから。』とのご返答でした（笑）

過去～現在を知ることが、未来の保護に繋がります。

私達、佐賀県支部もモニタリングサイト 1000 及び全国鳥類繁殖分布調査に参加し、佐賀の自然環境を守って行きましょう！ 調査地が決まりましたら、会報で案内致します。ご参加頂ける方へは今回研修参加者と同行調査をお願いします。



支部からのお知らせ



◆ ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

213号（10月号）でお知らせした以降の入会者を「大歓迎！」の気持ちを込めてご紹介いたします。

12月入会 加藤 美樹さん（三養基郡上峰町）
加藤 徳子さん

1月入会 川原 秀清さん（嬉野市塩田町）

以上3名の方が11月末現在でのご入会が確認されました。

佐賀県支部の会員は217名となりました。

これからも皆さんのお知り合いの方で「自然に関心のある方」がいらっしゃいましたら是非、野鳥の会入会のお誘いをして下さい。

◆ 佐賀県支部会員名簿 出来あがりしました！ （担当：青柳良子）

「個人情報」の問題があり「全員」というわけにもいきませんでした。お返事のあった方のみで作成し、支部報213号とともにお送りしました。

全員で何名の会員数なのかがわかるように「名簿には載せたくない方」や「お返事のなかった方」は空欄にしてあります。この名簿が会員同志の交流や仲間作りに役立ってくれたらありがたいことだと思っています。外部に漏れないようくれぐれもご留意願います。

◆ 新年会のご案内

来年2月3日（土）19:00～21:00の予定で佐賀県支部新年会を予定しています。会場は今年と同じ佐賀駅南口の「さかなや道場」を考えていますが、まだ予約受け付けはしていないので、決定は次号支部報でお知らせします。

参加できそうな方は 青柳良子（090-1659-7353）までご連絡下さい。

会費は4,000円の予定です。

奮ってご参加いただきたいと思います。よろしくをお願いします。



◆ 「東よか干潟に渡来する水鳥たち」写真展のお知らせ

「東よか干潟」はシギ・チドリなど旅鳥の中継地であり、クロツラヘラサギ・ツクシガモ・ズグロカモメなど冬鳥の越冬地でもあります。

この干潟に渡来する水鳥たちの写真を通して、平成27年にラムサール条約湿地に登録



された「東よか干潟」をPRし、豊かな海・有明海を大切にしていこうとの主旨で、下記のように写真展示会を開催します。

【期 間】 12月4日（月）～14日（木）

【場 所】 ゆめぷらっと小城 1F（小城市小城町 253 番地 21）

TEL：0952-37-6601

【写真提供協力者】 橋本 泰博さん 加藤 芳隆さん 松田 信義さん

※ 期間中、解説やカササギバッチ販売などでお手伝いいただける方は是非ご連絡下さい。

展示責任者：青柳 隆 （090-8642-8269）



各地の観察会報告



■young 探鳥会（in 東よか干潟）報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 9 月 10 日

【参加者】 蒲原留美、新田直哉、川原直嗣、福田康典、永島博、山中美由起、竹田澄子、宮原瑠璃子、松尾憲作、橋本泰博、中原正義、長岡保、甲木弘美、馬場清、中島修、中島由美子、江口富美子、朝田清子、清水恵弘、甲斐恵子、吉澤進、古賀郁香、久富文江、福島祥代、今泉知華、江口若菜、内田英丸、中村さやか（案内役）
（県外）長崎県 2、福岡県 16、神奈川県 7、東京都 5、千葉県 5、大阪府 2、愛知県 1、埼玉県 2、兵庫県 2、滋賀県 2、山口県 1、広島県 2

【観察された野鳥】 シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、オオハシシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、カラフトアオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、セイタカシギ、ハシビロガモ、ダイサギ、アオサギ、スズメ、ツバメ、ハクセキレイ、ミサゴ

【案内役より】

9月10日(日)に大授(東よか干潟)で young 探鳥会が行われました。

もちろん佐賀では初開催。九州でも初開催となります。当初、参加人数は 60 人～70 人を予想していましたが、ふたを開けると参加者は 80 人。

普段の東よか観察会は多くて 40 人くらいなので、いつもの倍の参加者が東よか干潟に集結したことになります。参加者の年齢層はさすが young 探鳥会!! 20 代～40 代の若い方が多く、いつもとちょっと違う雰囲気のお観察会でした。

（参加受付は 14 歳と 9 歳が担当しました）

そして参加者の方も関東圏など遠方からの参加が多く、大阪、滋賀、愛知、広島、山口、福岡、長崎など県外の方が多数を占め、young 探鳥会のネームバリューと、シギチ日本一の東よかのバードウォッチャーに対するアピール度が半端ないことを思い知った気がします。



そして、佐賀県に対するバードウォッチャーの経済効果すごいです。
このへんもうちょっと地域振興に活かすべきと思います。(がんばれ佐賀県)
鳥のほうはヘラシギを見ることを目標にしていたのですが、残念ながら発見には至らず・・・それでもカラフトアオアシシギ2羽がいてくれたので嬉しかったです。
シギチの観察種類数は25種でした。

今回、イベントの主催者側に回ったのでいろいろと準備など大変なこともありましたが、実際やってみて大変だけど楽しかったです!!
お手伝い頂いた皆様ありがとうございました。

(写真提供：中村さやかさん)



■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

①【日時】 平成29年9月24日

【参加者】青柳良子、中島修、中島由美子、中原正義、古賀郁香、吉澤進、山中美由起、島田洋、水田稔、馬場清、宮原明幸、中村さやか、中村翠、泊寿彦、坂田幸夫、江口富美子、新田直哉、田中康平、田中啓子、佐藤政明、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】オナガガモ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、クロツラヘラサギ、ムナグロ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、オオハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、カラフトアオアシシギ、ソリハシシギ、オバシギ、コオバシギ、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、キリアイ、ミサゴ、ハヤブサ、モズ、ショウドウツバメ、ツバメ、スズメ、ハクセキレイ

【案内役より】

今回は熊本県支部との合同観察会。熊本県支部は10時到着予定のため、早めに堤防下に降りる。本日のテーマは数日前から見られている「カラフトアオアシシギを見よう」西に向かって移動しながら観察。1kmほど歩き、西の方に目的のカラフトアオアシシギを見つける。最初は1羽だったが、いつのまにか2羽になる。10時過ぎに熊本県支部と合流する。アオアシシギとの違いを確認する。満潮になっても干潟は残り、鳥たちも干潟上に残る。

熊本の方も数多いシギ・チドリを楽しみ、11時30分まで予定時刻を延長して観察した。

②【日時】 平成29年10月22日

【参加者】橋本泰博、水田稔、川原直嗣、酒巻裕三、津山悦子、大川幸子、松尾優、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ダイサギ、コサギ、クロツラヘラサギ、ハジロコチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ツル

シギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、オバシギ、コオバシギ、トウネン、ハマシギ、キリアイ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、モズ、ツバメ、ジョウビタキ、ハクセキレイ

【案内役より】

超大型台風 21 号が接近中で、朝から強い風の中、10 名の方が集まりました。シチメンソウが赤く色付き始める中、堤防下に下りる。満潮となり干潟が水没し、小型のシギ・チドリは捨石上で休憩する。しばらくして、ハジロコチドリの声。群れの中にハジロコチドリを見つける。当地では数年ぶりです。途中、フランス人のバーダーといっしょに観察する。英語版の図鑑と日本語版を見比べて、種類の確認を行う。台風の強風の中での観察会でしたが、何とか無事に終了する。

③【日時】 平成 29 年 11 月 18 日

【参加者】宮原明幸、川原直嗣、田中照美、嶋田秀樹、久富真由美、平洋子、久富友季、真木秀一郎、真木美由紀、真木礼彰、真木智彰、真木信彰、長岡保、水田稔、青柳良子、今泉隆、今泉りえ子、吉田真緒、江口富美子、大川幸子、八木ひとみ、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、クロツラヘラサギ、タゲリ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、オオハシシギ、オグロシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、オバシギ、トウネン、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、オニアジサシ、クロハラアジサシ、ミサゴ、ハヤブサ、ハクセキレイ、ホオジロ

【案内役より】

天気予報では雨の予報でしたが、予報は外れる。当日、東よか干潟では有明海クリーンアップ作戦が開催され、数百人の人が集まり清掃作業が行われた。観察会は東よからムサールクラブの小学生、クリーンアップ作戦の参加者と合同になる。ツクシガモ、ズグロカモメ、クロツラヘラサギの数が増加し、冬らしくなる。ハヤブサの突然の襲撃にハマシギの群れが乱舞し、歓声上がる。途中から清掃作業に参加する人もあり、海岸もすっかりきれいになる。

■鬼の鼻山公園観察会報告（多久市）

【日時】 平成 29 年 11 月 5 日

【参加者】岩野由美、岩本朝昭、岩本佳子、岩本千聖、岩本芳依、大藤和浩、大藤孝子、岡崎章、岡崎通代、蒲原留美、川原直嗣、陣内さおり、陣内将勝、陣内夏希、陣内僚汰、高崎由美、高崎洋三、高山英一、田栗歌萌、田栗美紀子、田栗泰清、田栗泰也、田中義一、田辺憲子、徳淵義実、中尾祥子、長岡保、中島修、中島由美子、橋本泰博、久富文江、古川昌高、松原忠夫、水田稔、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】キジバト、ハイタカ、ノスリ、コゲラ、アオゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、

メジロ、シロハラ、スズメ、アトリ、カワラヒワ、マヒワ、ホオジロ、ミヤマホオジロ

【案内役より】

初めての探鳥地で、鳥の出没ポイントの把握が出来てなく適切な案内が出来ませんでした。鳥はハイタカが棲みついでいて、近く遠く飛びます。

森の奥からはアオゲラのドラミングも聞こえています。

公園内は、綺麗に整備されていますが人気は無い！ハイタカが棲みついでいますから小鳥も多いはず？ 良い探鳥地が開拓出来ました。

■森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 11 月 26 日

【参加者】青柳隆、青柳良子、宮原明幸、友岡周一、川原直嗣、加藤芳隆、川部静也、長岡保、田中義一、高山昭彦、水田利穂、川上武彦、甲木弘美、古川恵子、大藤和浩、大藤たか子、津山悦子、宮崎明美、久富文江、永島博、大川幸子、蒲原康代、山中美由起、江口富美子、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】カワウ、カイツブリ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、タゲリ、イソシギ、キジバト、ドバト、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、キクイタダキ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス

【案内役より】

佐賀県立森林公園では、長きにわたって工事が行われ、すっかり様子が変わってしまいました。多くの樹木が伐採されて、並木道としか言いようがありません。野鳥の隠れる場所もなくなりました。参加者の方もあまりの変わりように驚いていました。

そんな中での久々の野鳥観察会です。個体数は少ないものの嘉瀬川の水鳥も含めて 34 種類の野鳥を観察することができました。12 月にも森林公園での観察会を予定しています。たくさんの野鳥の登場を期待しましょう。



（写真提供：加藤芳隆さん）

出水探鳥行のご案内

【日 時】 平成 30 年 1 月 6 日（土）～7 日（日）

【探鳥地】 鹿児島県出水市

【見どころ】 お正月、1 泊 2 日で出水で越冬するツルに会いに行きます。

1 月 6 日早朝出発、レンタカー乗り合わせで行きます。

宿はホテルインターナショナル出水（JR 出水駅前）です。

参加ご希望の方は、12 月 15 日までに「宮原明幸さん」迄お申し込みください。

【申し込み先】 宮原 明幸さん（佐賀市・携帯：090-2507-7085）まで。





皆さんからのおたより



●「普通動物図譜の鳥たち 第5回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

この図譜に掲載されている冬鳥たちを紹介します。 ウソ・イルカ・カケスとオシドリです。「イルカ」とありますがイカルの間違いだと思います。しかし図版にはイルカと表記してあり、解説欄にもイルカとあります。よくお世話になっている「鳥名の由来辞典」にも「イルカ」とはありません。これは謎です？



いるか（イカル） カケス



うそ



おしどり

●八木 ひとみさん（佐賀市）

①「フラグ付きのクロツラヘラサギ」

11月5日に見たフラグのついたクロツラヘラサギを山階鳥類研究所に報告したところ、以下の回答がありました。

おそらく「白黄白」は2014年から毎年来ている「白カラーリングRU11」だと思います。また金属足環（末尾「67B」）だけの個体は、足環の材質形状刻印の位置などから、ロシアで使用されているものと思われます。2羽とも同じ繁殖地の可能性もありそうです。記号番号がはっきりしましたら、ロシアに問い合わせることも出来ると思います。

白RU11の放鳥データ

- ・メタル：B46147
- ・放鳥地：Furuge l m ls., South Primorye, Russia
- ・緯度経度：42.4652, 130.9194
- ・放鳥日：2013/7/25
- ・放鳥時の年齢：幼鳥

クロツラさんも遠くから来ているんですね。



②「クロハゲワシに会いに！」

11月3日、諫早の干拓地にクロハゲワシに会いに行きました。クロハゲワシはすでにたくさんの遠来バーダーの注目を集めていました。私もしばらく皆様と観察。カラスに

つつかれても動かないので、他の鳥を捜しに行きました。 ナベコウ、ナベヅル、アトリ、タゲリ、ミヤマガラス、チョウゲンボウなどたくさんの鳥に会えました。ナベコウを見ていたらとなりの方に電話があり、クロハゲワシが飛んで、前より近くで見られると聞こえてきました。私も便乗して移動。近くなったのでじっくり見ようと思ったら、クロハゲワシのすぐ横を一般の車が走り去りました。驚いたクロハゲワシは飛びあがり、私たちの真上をしばらく旋回した後、飛び去りその後諫早には帰ってこなかったそうです。 クロハゲワシとトビが並ぶ奇跡の写真が撮れていました。その大きさに驚きます。カワウの電線止まりを初めて見ました。アトリとナベコウがとても美しかったです。



クロハゲワシ

トビとの比較

→ ナベコウ →→ 電線にとまるアトリの群れ

③「デジブック紹介します」

『 東よか干潟の鳥 秋 』

<http://www.digibook.net/d/S3848197918fb4b535709ad06c8f569c/?m>

『宮沢賢治の鳥』を読みました。
 宮沢賢治が鳥を描いた本を紹介
 するような本でした。
 私はこの前の時『金沢河金矢道の夜』
 を読みました。この本の最後の気取り
 ぶに感重を受け9年間も小説を
 読んでいません。ここからは、この本で
 紹介された賢治さんの本を海苔の
 仕事をしながら読もうと思います。
 榊鳥会には出席できませんが、
 宮沢賢治さんの本どんな鳥に
 会えるか楽しみです。
 感想文を書きます。



← 橋間みち子さん（小城市）からのお便り。



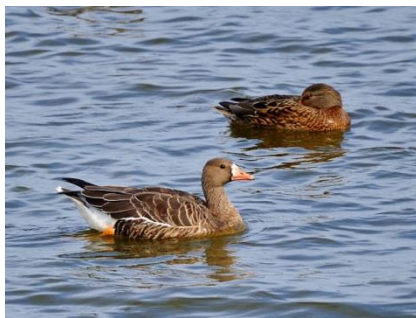


皆さんからの野鳥&生きもの情報



■加藤 芳隆さん（上峰町）

- 11月5日 【東よか干潟（大授搦）】 シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ウズラシギ、キリアイ、ハマシギ、オバシギ、コオバシギ、コアオアシシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、オオハシシギ、ダイシャクシギ、ホオロクシギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、クロハラアジサシ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ホシハジロ、オナガガモ、ヒドリガモ、コガモ、マガモ、ハシビロガモ、ツクシガモ
- 【鎮西山】 シジュウカラ、ヒヨドリ、シロハラ、ムギマキ、ジョウビタキ、キクイタダキ、カワセミ
- 11月12日 【佐賀市】 オシドリ、カワセミ、ヤマセミ、ホオジロ、スズメ、セグロセキレイ、イソシギ、キセキレイ、ダイサギ、カワウ
- 【巨勢川】 マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、マガン、トビ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
- 【鎮西山】 ジョウビタキ、アオジ、アトリ、ウグイス、エナガ、キクイタダキ、シロハラ、カワセミ、シジュウカラ、コゲラ、キセキレイ



マガン



エナガ



有明海の満潮時刻（六角川観測塔）



	時刻	潮高 (m)		時刻	潮高 (m)
12月17日	8:47	5.1	12月21日	11:02	5.1
12月18日	9:25	5.1	12月22日	11:31	5.0
12月19日	10:00	5.2	12月23日	11:59	4.9
12月20日	10:33	5.2	12月24日	12:30	4.7

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

- 東よか海岸
潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！
- 鹿島新籠海岸他
潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。）





最近の新聞・情報誌の記事から

ユニークな図鑑が人気



小学館のイベントで子どもたちの質問に答える女優の芦田愛菜さん(中央)、東京大総合研究博物館教授の遠藤秀紀さん(左)、編集長の北川吉隆さん

人に話したくなる雑学紹介

人間や動物など生き物の生態を特集した事典や図鑑が人気だ。大人も読める専門的な内容を紹介したり、「せつない」「ざんねん」などユーモラスな視点でまとめたりして工夫を凝らしており、人に話したくなるうちく、雑学が関心を集めているようだ。

芦田さん「よく読んだ」

「人の心臓は1日に何回ドキドキと鼓動を打つでしょう?」「歯の形が人と似ている動物は何?」一。東京都で開かれた「図鑑NEO」シリーズ(小学館)の親子向けイベント。会場に集まった子どもたちはクイズや専門家の解説に目を輝かせ、「寝ている時間が一番短い動物は?」「人の寿命はどこまで延びるの?」などの質問も次々飛び出した。解説役の東京大総合研究博物館教授の遠藤秀紀さんは「食べ物に似ていると歯の形も似てくる」「襲われる危険のある生き物は長時間眠れない」など、さまざまな動物を例に説明した。

「両生類・はちゅう類」「危険生物」「人間」など、多様なテーマを写真や図解を交えて紹介する同シリーズ。編集長の北川吉隆さんは「子どもが分かるように説明をかみ砕くのに苦心しますが、解説は研究者が手掛けるなど専門的」と話

す。イベントでは中学生で女優の芦田愛菜さんが「小さい頃は『人間』の図鑑が好きで、本棚から出してよく読んでいました」と、図鑑に興味を広げた体験を紹介。遠藤さんは「図鑑をきっかけに、いろんなことに興味を持ってほしい。決まった答えや正解があるとは限らないので、自分で考えられるようになって」と子どもたちに呼び掛けた。

ユーモラスな視点の書籍も相次いで出版されている。「泣けるいきもの図鑑」(学研プラス)、「しくじり動物大集合」(永岡書店)などだ。火付け役とされるのが、昨年刊行の「ざんねんないきもの事典」(高橋書店)。第2弾の続編と合わせ、累計発行部数は100万部を超えた。漫画風の挿絵とともに「リスはドングリをうめた場所をすぐわすれる」「アライグマは大人になると超凶暴」など、意外



「せつない動物図鑑」(ダイヤモンド社)より



「泣けるいきもの図鑑」(学研プラス)より

性を感じる特徴を紹介。子どもだけでなく、大人にもうけているという。

発売2カ月で21万部を超えたのは、米国の人気サイトが書籍化されたヒット作を翻訳した「せつない動物図鑑」(ダイヤモンド社)。動物のかわいいイラストが特徴で、「イヌはテレビが好きふりをする」「シマウマはひとりで寝られない」など、「クスッと笑える」という観点で100項目以上をまとめている。

同社の宣伝担当者は「幅広い年代に人気で、会話のネタとして楽しんでもらえる内容。動物も一生懸命生きてると、元気づけられる人も多いようです」と話している。

(17/11/1 付け: 佐賀新聞) 野鳥の話題ではありませんが、なんだかとても面白そうな記事でしたのでご紹介します。 どなたか読んだ方はおられますか?





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：2018年1月7日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：12月5日(火)、2018年1月9日(火) 10:00～ (定例探鳥会) **集合時間にご注意を！**

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：12月9日(土)、2018年1月13日(土) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：12月10日(日)、2018年1月14日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：12月17日(日)、2018年1月21日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：12月24日(日)、2018年1月28日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般 200 円 高校生 100 円 中学生以下無料)

日時：12月10日(日) 9:00～ (定例探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市御井町・高良下宮社

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：12月23日(祝) 10:00 横島干拓 (企画探鳥会)

場所：熊本県玉名市・横島干拓 / 集合：9:00 玉名市横島町公民館駐車場

担当：江口浩喜さん TEL：090-4516-1123

日時：12月25日(日) 9:00～ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・甘木山 / 集合：9:00 大牟田市の甘木山ハイツ駐車場

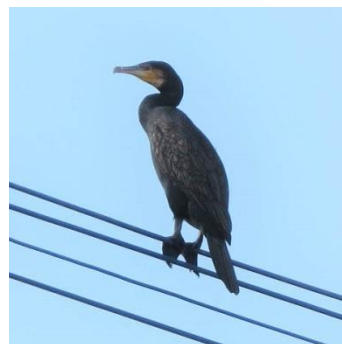
担当：野田達行さん TEL：090-7446-9047

MINI BIRD GALLERY

(撮影：八木 ひとみさん)



チョウゲンボウ



カワウ



ナベヅル

～野鳥さが原稿募集中～

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





観覧会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①12月10日 佐賀市・巨勢川調整池



②12月17日 ⑧1月21日 東よか干潟



③12月23日 伊万里市・小島古墳公園



④12月24日 佐賀市・森林公園



⑤2018年1月2日 鳥栖市・朝日山



⑦2018年1月14日 佐賀市・石井樋公園





観察会などのご案内

(2017年12月～2018年1月)

①12月10日(日)

巨勢川調整池(佐賀市)

[時間&場所] 10:00 佐賀市金立町の東名(ひがしみょう)遺跡「縄文館」前駐車場
[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286
[見どころ] 池一周約2時間の間に、おもわぬ鳥に出会うかもしれません。東名遺跡は日本最古の湿地性貝塚。縄文館に展示されている出土品も必見!

②12月17日(日)⑧1月21日(日)

東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] (12/21) 8:00 (1/21) 10:00
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560
[見どころ] 多くのカモたちやズグロカモメ、クロツラヘラサギのユニークなエサ採りを観察しましょう。

③12月23日(祝)

小島古墳公園観察会(伊万里市)

[時間&場所] 10:00
伊万里市山代町久原の小島古墳公園駐車場
[担当]山崎 章弘さん(伊万里市) 090-3013-3132
[見どころ] 伊万里湾にある小島(現在は陸続き)の頂上に築かれた前方後円墳です。石室の内部に入れるそうです。

④12月24日(日)

森林公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 09:00
佐賀市久保田町 県立森林公園・北側駐車場
[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286
[見どころ] かつての森林公園とはすっかり変わってしまいましたが、ここは支部の原点です。

⑤1月2日(火)

朝日山 New Year 観察会(鳥栖市)

[時間&場所] 09:00 朝日山公園入口駐車場
[担当] 橋本 泰博さん(みやき町) 090-8833-6130
[見どころ] 今年もここから始まります。一番の観察ポイントは集合場所の駐車場周辺です。

⑦1月14日(日)

石井樋公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:30
佐賀市大和町 石井樋公園「水ものがたり館」
[担当] 青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353
※「さが水ものがたり館」主催の探鳥会と合同で行います。

⑥1月6日(土)～7日(日) 出水ツルウォッチング(鹿児島県)

[申し込み先] 宮原 明幸さん(佐賀市)携帯:090-2507-7085 詳しくは9ページの案内をご覧ください。

⑨1月28日(日) 宇宙科学館周辺観察会(武雄市) ※詳細は次号でご案内します。

共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
 公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
 電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636
 日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
 事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-8863-5659)
 〒849-1315 鹿児島市三河内2974-1
 郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」